

令和元年 7 月 19 日



## News Release

### 台湾鐵路管理局縦貫線（台中～高雄間）との 姉妹鉄道協定締結について

青い森鉄道株式会社（代表取締役社長・千葉耕悦）では、台湾との観光交流と相互誘客を推進するため、7月22日（月）に台湾鐵路管理局縦貫線（台中～高雄間 206.5km）と姉妹鉄道協定を締結することとしました。（詳細については、別添資料をご参照ください。）

なお、締結にあたり、台湾政府交通部の林佳龍部長（交通大臣）並びに、当社とともに青い森鉄道線を運営する、青森県の三村申吾知事を立会人として、下記のとおり締結式を行います。

#### 【締結式内容】

1. 日時 令和元年7月22日（月）16時（日本時間17時）
2. 場所 台湾・台北駅 1階 コンコース
3. 式次第

#### （1）スピーチ

- ① 交通部台湾鐵路管理局 局長 張 政源
- ② 台湾政府交通部 部長 林 佳龍
- ③ 青い森鉄道株式会社 代表取締役社長 千葉 耕悦
- ④ 青森県知事 三村 申吾

#### （2）協定書署名

締結者：台湾鐵路管理局 張局長、青い森鉄道(株) 千葉社長  
立会人：台湾政府交通部 林部長、青森県 三村知事

#### （3）記念品交換

#### （4）記念撮影

## 台湾鐵路管理局縦貫線（台中～高雄間）との姉妹鉄道協定締結について

青い森鉄道株式会社

### 1. 協定締結の趣旨

青森県がこれまで深めてきた台湾との交流と、台湾から多くのお客様が青森県を訪れている状況を踏まえ、台湾鐵路管理局と連携し、台湾の方々に当社沿線の四季折々の魅力と両地域の結びつきを発信し、より多くのお客様に青森へお越しいただくとともに、当社線をご利用いただけるよう取り組むものです。

また、青森県と連携協力し、県内全域に台湾の魅力を強力にPRすることにより、台湾に行ってみたいと思う県民を増やし、一人でも多く台湾を訪れる県民が増えるよう取り組み、協定締結を機に、将来にわたる台湾と青森県との相互交流拡大を図るものです。

### 2. 締結路線について

#### (1) 締結路線

縦貫線（台中～高雄間 206.5km）

青い森鉄道線（青森～目時間 121.9km）



#### (2) 路線との関わりについて

- 縦貫線は、台湾の主要都市である台中市や台南市を通過しており、これまで既に青森県や県内自治体との間で友好交流協定等を締結するなど関わりの深い地域です。
- 縦貫線と青い森鉄道線はともに、経済や文化振興に大きな役割を果たしている地域の幹線鉄道であり、沿線地域は農業や水産業が盛んであるなど産業の特性も大変よく似ており、今後幅広い分野での交流が期待されます。
- 縦貫線沿線の高校から青い森鉄道沿線の自治体への教育旅行などの交流も、盛んに行われています。

### 3. 締結後の取組について

- 台湾と青森のそれぞれの魅力や観光案内、相互の交流を紹介するパネルを駅や列車内に展示したり、メディア・SNSを利用した情報発信を行います。
- 台湾のお客様にも安心快適に列車をご利用いただけるよう、多言語での案内やフリーWi-Fiサービスのさらなる拡充のほか、台湾からのお客様を対象にした特典提供、青い森鉄道のポケット時刻表（繁体字バージョン）制作などのサービスを展開します。（内容や実施時期は、決定次第ご案内いたします。）

【参考】台湾と青森県の交流

- 日本から台湾へのりんご輸出量のうち9割が青森県産であり、台湾の方々は「青森といえば『りんご』」のイメージが定着しています。
- これまで、台湾と青森空港を結ぶチャーター便の誘致が進められ、今年7月17日に、エバー航空の定期便が就航しました。
- 台湾から青森県への観光客数が伸びており、2018年には年間95,820人泊（※）で、外国人延べ宿泊者数の中では台湾がもっとも多くなっています。

※ 観光庁 宿泊旅行統計調査 平成30年1月～12月 速報値